

# カムシャフトキット / アダプターセット 取扱説明書

製品番号	01-08-0011(カムシャフトキット)
	01-08-0017(アダプターセット)

適応車種	'10 ~ '16 KLX110L / (LX110D-A72046 ~ AA2700)
	'12 KSR110 (KL110CBF) / (JKAKL110CCDA00058 ~ )
	'10 KSR110 (KL110DDF) / (KL110D-A57002 ~ )
	'14 KSR PRO (KL110EEF) / (JKAKL110EEDA88121 ~ )

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎当製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に作業を行って下さい。

◎デコンプ機能は無くなります。

◎セルフスターター車両において、バッテリーが満充電状態であっても始動しにくくなる場合があります。

◎取り付けの際には適切な工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご相談される事をお薦め致します。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎ボルト、パッキン類は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品の物をご使用下さい。

◎KLX110Lにご使用の場合、2017モデル以降 タイプ名 DHF 以降の車両は取り付け出来ません。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

■作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。

(部品の脱落の原因となります。)

■ボルト、パッキン類で再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。

(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。



番号	部品名	個数	リペア品番
1	カムシャフト COMP.	1	01-08-045
2	カムシャフトアダプター	1	00-00-1277
3	ストッパー	1	00-01-1065
4	スプロケット	1	00-00-1297
5	ソケットキャップスクリュー 6x10	2	00-00-0716 (5ヶ入り)

※01-08-0017には番号1:カムシャフト COMP. は含まれません。

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

※水平で安全な場所で車両を安定させる。

### ●取り外し

#### ◎カムスプロケットの取り外し

○ボルト4本を取り外し、カムスプロケットカバーを取り外す。



○ジェネレーターカバーのホールプラグ2箇所を取り外す。



○フライホイールを反時計方向に回し、カムスプロケットの“—”マークをシリンダーヘッドの突起に合わせる。



○フライホイールを保持し、カムスプロケットのボルト2本を取り外す。

○デコンプ部品及びカムスプロケットを取り外す。

○シリンダーのカムチェーンテンションナーのボルトを取り外し、ストッパーを時計方向に回し、プッシュロッドをロックさせる。



#### ◎ロッカーアームとカムシャフトの取り外し

○ボルト2本を取り外し、バルブアジャスティングカバー IN側、EX側を取り外す。スクリュー2本を取り外し、ロッカーアームシャフトストッパーを取り外す。



○ロッカーアームを手で持ち、ロッカーアームシャフトを引き抜いて IN側、EX側のロッカーアームを取り外す。



○カムシャフトを抜き取る。  
★無理に引っ張らない事。



### ●取り付け

#### ◎カムシャフトとロッカーアームの取り付け

○カムシャフトアダプターをシリンダーヘッドに取り付ける。



○キットのカムシャフトをシリンダーヘッドに取り付ける。この時、カムシャフトアダプターの切り欠き部にカムシャフトのカム山を合わせながら差し込んでいく。



○カムシャフトの IN、EX のカム山が燃焼室側になるようにセットする。

◇ロッカーアームを手で持ち、ロッカーアームシャフトをシリンダーヘッドに差し込み、IN、EX 共に取り付ける。



○付属のロッカーアームシャフトストッパーをノーマルのボルト2本で取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボルト  
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



#### ◎カムスプロケットの取り付け

○フライホイールの“T”マークの線がジェネレーターカバーサービスホールの中央になっているか確認する。



○文字面を外側に向け、カムスプロケットの“-”マークがシリンダーヘッドの突起に合うようにカムチェーンを取り付ける。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込む。



○カムシャフトスプロケットの穴にカムシャフトのネジ穴を合わせ、付属のソケットキャップスクリュー6x10 2本を取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットキャップスクリュー  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○カムシャフトチェーンテンショナーのストッパを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除する。キャップボルトを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
キャップボルト  
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



#### ◎バルブクリアランスの調整

○フライホイールの“T”マークの線をジェネレーターカバーサービスホールの中央に合わせ、カムスプロケットの“-”マークがシリンダーヘッドの突起に合っているか確認する。

○アジャストスクリューとバルブシステム間にシックネスゲージを差し込み、引き抜くときに少し抵抗があるぐらいに合わせ、アジャストスクリューを固定してナットを締め付ける。  
バルブクリアランス  
： IN、EX 共に 0.04 ~ 0.08mm

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ナット  
トルク：8.8N・m (0.9kgf・m)



○クランクシャフトを反時計方向に2回転まわし、バルブクリアランスが変化していないか確認する。クリアランスが変化している場合は再度調整する。

○ジェネレーターカバーのホールプラグ2箇所を取り付ける。



○カムシャフトスプロケットカバーをボルト4本で、バルブアジャスティングカバー IN 側、EX 側をボルト2本で取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボルト  
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)

